

第2回多職種合同研修会事前アンケート回答

- 1 在宅医療を利用する場合は、主治医も変更した方が良いでしょうか。また、往診と在宅医療はどちらが良いのでしょうか。

回答

通院困難となった場合は、まず主治医に往診して頂くか、あるいは往診可能な医師を紹介していただくかを主治医に相談してください。

- 2 在宅医療と介護の連携推進は、介護保険関係者が積極的でも医師が動いてくれないと連携できない現状です。つがる地区は他地区より在宅医療が整備されていません。今後、訪問診療や医師の意識はどのように変わりますか。

回答

連携推進は一朝一夕では出来ません。互いを理解していただくために、研修会等を幾度となく行っています。

- 3 在宅医療で、薬剤師が医師の指示のもとで、訪問できることが薬剤師以外の職種の方々に周知しているのでしょうか。また、歯科の訪問診療について、詳しく知りたいと思います。

回答

歯科医師会でも歯科の訪問診療の研修会・多職種連携の研修会を多職種の方々を対象に行っています。また、ケアマネ会などの依頼で講演も行っています。要請いただければ講演いたします。

- 4 在宅医療の受け入れ可です。こういった場合、薬剤師として社協さんやケアマネさんにアプローチしてもいいものなのでしょうか？

回答

在宅で一緒にできることがあると思うので、ぜひどんどんケアマネにアプローチしてください。

5 歯科に何を期待するのか、もしくは何も期待していないのか、歯科医師として本音を伺いたい。

回答

各施設によって要望が異なると思います。

地域で暮らす人を支援するときに、歯科の先生から口腔についての助言やアドバイスが必要です。一緒に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

すぐに目に見えた形での効果は難しいかもしれませんが、個別の地域ケア会議や事例検討・勉強会などを通して五所川原市としての一番いい方法を検討していきます。

6 医療から介護へと変化しつつある中で、私共のようなクリニックがこの体制にどう関わって行けばよいのか少しでも学びとなればと思出席させていただきます。よろしければ、他職種の方達から見て、私共看護師に望む事柄があれば教えていただきたいと存じます。

回答

地域の中で高齢者も障害者も安心して生活していくために何が必要なのかを一緒に考えながら、地域の中の仕組みを住民と一緒に作り上げていきたいと考えています。

ぜひ一緒に取り組んでいけたらと思いますので、研修案内などお声をかけさせていただきたく、よろしくお願いします。

7 薬剤師です。どうすれば在宅患者を紹介して頂けるのかを知りたいです。また、病院のカンファレンスにどうすれば呼ばれたり参加できるのか知りたいです。

回答

既に関わっている患者さんに対しては、入退院の際にかかりつけ薬局へも連絡するようにしていきます。連携しながら退院時のサービス担当者会議やカンファレンスに互いに声を掛け合っていく必要があります。また、合同の研修会でそのような具体的な連携方法・仕組みについて検討・勉強できればいいと思います。

8 介護へ

口腔衛生管理体制加算を算定する事業所としてのメリットはありますか。

介護・行政へ

口腔衛生管理体制加算を算定している事業所はどのくらいあるのでしょうか。

回答

施設で生活している方にとって、口腔ケアや嚥下について相談できるので助かっています。月に1回足を運んでくださり感謝しています。

口腔衛生管理体制加算は、入所者の方々に対し食事前の口腔の運動や食事の取り方、食後の口腔清掃及びその介助を行っており、月に一度歯科医師または歯科医師から指示を受けた歯科衛生士とディスカッションした場合に事業者側が得られる単位です。口腔ケアは高齢者介護の基本です。基本を行うだけで単位が得られますので、嘱託歯科医・協力歯科医に相談してください。

算定している事業所数については、現在のところ把握できておりません。

9 全国的に口腔ケアの重要性が再認識されている昨今、実際にケアマネジャーはケアプランにどの位の割合で口腔ケアをアセスメントしているのでしょうか。

回答

口腔ケアや誤飲問題について、ケアマネはここ最近口腔ケアの重要性について学び始めたところです。口腔アセスメントやケアプランへの記載について、歯科医師と一緒に地域で検討できる仕組みづくりを検討していきます。

10 要介護者の9割は口腔ケア等の何らかの歯科治療が必要だと思いましたが、現状問い合わせ等がなく、需要と供給のバランスが取れていないと思いましたが、どうやって認知度を上げていくべきか取り組み方を教えていただきたいです。

回答

認知度を上げるために青森県歯科医師会でもパンフレットを作り、施設へ送ったり、テレビ・ラジオで放送するなどPRを行っていますが、なかなか広まりません。介護側への認知不足・遠慮など様々な原因があると思いますが、あらゆる面でPRしていくことが大切だと思います。例えば現在通院されている高齢の患者さんにも、通院困難になった場合には往診する旨を日頃から広報することも大切だと思います。

バランスが取れるようにするには、どうすればいいのかが何が必要なのか利用者や患者さんをもっと元気にできるのか同じ場で一緒に考えていく必要があります。

以上、可能な範囲でご回答いたします。

※三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、介護支援専門員協会よりご回答を頂いております。